

かけはし

発行所
近畿島根県人会
 大阪市北区西天満 3-13-18
 TEL 06-6364-3605
 FAX 06-6364-3854



「棚田祭り」 浜田市三隅町

第1回なつかしの国石見フォトコンテスト入賞作品

二〇〇九年九月三十日、国の重要無形文化財・石州半紙のユネスコ無形文化遺産登録が決定

二〇〇三年、ユネスコが「無形文化遺産の保護に関する条約」を採択しました。これは、芸能や伝統工芸技術など、世界の代表的な無形遺産のリストを作成し、これら遺産の保護・継承を図るものです。今回、日本からは石州半紙（せきしゅうばんし）を含む一四件の無形文化遺産が代表リストに記載されることになりました。和紙の分野では石州半紙が初めての記載になります。

島根県西部の石見地域（石州）では、平安時代には製紙が行われており、江戸時代になると津和野、浜田両藩が製紙を奨励した結果、盛んにつくられるようになりました。

石州で漉かれる半紙大の紙は、大坂商人たちの帳簿用紙として重用されたことから、石州半紙の名が広まりました。

原料に地元産の良質な楮（こうぞ）を使い、伝統的な手作業によって作られる石州半紙は、自然な風合いを持つ、大変強靱な和紙です。現在では障子紙や書画用紙などに使われています。

ユネスコ無形文化遺産登録

石州半紙

石州和紙会館 (<http://www.sekishu.jp/washikaikan/>)

重要無形文化財の「石州半紙」を代表とする石州和紙の技術・技法は、三隅町を中心に住む職人の手で一貫して保持されてきましたが、この数年間で貴重な職人としての人材を失い、事業所は四件となっています。

二〇〇八年一〇月に浜田市三隅町古市場の三隅中央公園内にオープンした石州和紙会館は、石州和紙の技術伝承を研修する施設として後継者育成を図り、日本の和紙・国際交流の情報発信、会館オリジナル和紙の製造・商品開発を行っています。会員の様々な作品が見られるほか、紙漉き体験もできます。電話・FAX 〇八五五・三二・四一七〇



「日没後三十分」
澄田前知事を偲ぶ

近畿島根県人会
会長 和田 亮介

去る九月十三日、澄田信義前知事を偲ぶ会に出席した。

松江市にある「くにびきメッセ」の大会場が、二千余名の人々で埋る。

五期二十年、という長期にわたって島根県政を担った澄田さん。その間私は、近畿島根県人会、近畿島根経済倶楽部の二つの会で、澄田さんの警咳に接してきた。

この二十年を通じての私の印象は“誠実”の二字につきる。偲ぶ会で、祭壇上の遺影に献辞した五名の方々の、前知事を偲ぶ様々な言葉も、この二文字に帰納するだろう。

毎年の近畿島根県人会の総会に出席され、多くの会員の前で県政を語る知事の挨拶は、熱っぽくはあったが、少しのけれどもなかつた。しかし会員は、知事の話に惹き込まれ、なつかしい故郷の、移り行く

様を理解したのだ。

総会の呼物は、石見神楽や郷土の民謡など盛り沢山だったが、意外な呼び物は、毎回の知事の挨拶だったように思う。故郷と県人を結ぶ強い絆は、澄田さんによって、より固く結ばれたのだ。

私が会長となった時、新しい県人会の理念としたのが“島根は一つ”であった。出雲、石見、隠岐の三ヶ国で成立つ島根県、それぞれの歴史と文化の違いから、これまでは何処かよそよそしかった。

考えついたのが三ヶ国による輪番制である。年度毎に、それぞれの個性を生かし、その三角形を廻らすことで、丸い円に一体化しようというものである。

この案を最も強く支持して下さったのが、外ならぬ澄田さんだった。思うに、県政に当たって、誰よりもこのことに腐心されたのではなかっただろうか。

澄田さんにかかわる一つの思い出がある。

県立美術館の閉館時刻の設定だ。新しい県立美術館を、夕日の美しい宍道湖畔へつくられたのが何年前だったのか。問題は美術館の、閉館時刻である。

「日没後三十分」。日没は四季により異なる。宍道湖に浮ぶ嫁ヶ島、島根半島の山脈に沈む夕日も又、四季により微妙に違うのだ。

かかる粋(いき)な閉館時刻をもつ美術館を、私は知らない。澄田さんの文化力といえは、大袈裟だろうか。

多分あの世で、独り、美しい宍道湖の夕日を眺めていらっしやるにちがいない。



こんにちは！近畿松江会です。

近畿地方で活動される各島根県人会・市町村人会のご紹介です。
第一回目は、近畿松江会のご紹介です。



近畿松江会
会長 荻田運三郎

数ある市町村人会の中でも、設立四年という近畿松江会が、このシリーズのトップに取り上げられることには、いささか後ろめたいものがありますが、あえて松江会の歩みの一端を記してみましよう。

近畿島根県人会から、いやしくも県都たる松江に、市人会が無いのはおかしい、と注文が出されたのが、たしか平成十七年のこと、そこで設立委員十人が集まって、初代会長に長谷川吉雄氏を選び、発足しました。何しろ零からのスタートです。会の基礎づくりには、手間と時間がかかりました。

幸い、松江市の強力な支援があり、なんとか形が整いましたが、本当に血肉の通った会になったのは、石の上にも磨きの通り、三年の歳月が経ったころでした。

何とか、早くというので、三水会という集り、つまり毎月第三水曜日の夜、玉造口にある「大枡」で、杯を交わしながら、腹臍なく語り合う会をつくったのです。

そのうち、酒もいいが、一体感を出すには、やはり歌だということになり、「故郷（ふるさと）」の替え歌「ふるさと松江」を皆で作詞して三水会で合唱したのです。

早速効果の出たのが、故郷松江へのバスツアーです。ツアーの目当ては、日本三大船神事の一つ、“ホーランエンヤ”の見学でした。十二年に一度という勇壮きわまりない神事の見事さに、一同肝を奪われたものです。

そして、行きかえりのバスの車中で謳った「ふるさと松江」の大合唱が、松江会の結束を一気に昂めたことです。

更につけ加えると第四回の総会を“ホーランエンヤ”の前日、松江市の一室で開いたことです。実はその時、不肖私が二代会長に選ばれたのですが、故郷松江で選ばれたことの意味を深く考え、今後の運営に努めたいと、つよく決意しました。おかげ様で、設立の苦難期は何とか乗り越えました。あとは、県都松江を故郷にもつ、この近畿松江会をどの様にして発展させるのか。会歌は、歌詞の末尾を「だんだん松江ふるさと」と結んでいます。

会発足の鍵は、この「だんだん」、つまり、皆さんに対する“感謝”しかない、自分に言い聞かせる昨今です。

ふるさと松江

※曲は 故郷（ふるさと）作曲 岡野 貞一

作詞 近畿松江会

一 神話は語る

佐陀加賀

四 牡丹薫る

八東路

ご縁嬉し

八重垣

紫烟けむる

中海

熊野神魂も

鎮座して

恵比寿シヨホイ

五本松

だんだん

松江 ふるさと

だんだん

松江 ふるさと

二 千鳥お城

石垣

嫁が島に

茜さす

松江大橋

カラコロと

だんだん

松江 ふるさと

三 蛸美味し

宍道湖

波に遊ぶ

夕鴨

勾玉湯の町

浴衣がけ

だんだん

松江 ふるさと



近畿松江会事務局

事務局長 竹谷 奨

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町

2-34 竹谷設計事務所内

電話 06(6765)2101 FAX 06(6765)2104

e-mail osktake@ff.ij4u.or.jp

しまねびと

リレー



Vol. 1

この頁では、島根や関西で、「島根」に関する活動をされる方々を紹介していきます。第一回目は松江市内で日本酒バーを経営される傍ら、「AAO(エイ！エイ！オー！) 島根の地酒をにぎわす会」を運営し、代表を務める三谷尊文さんです。

★ ★ ★ ★ ★ 「AAO島根の地酒をにぎわす会」とは？

(三) 元々は日本酒を楽しみたい消費者の集まりです。島根にはいい酒が沢山あるのに、飲食店で供される酒は県外のもが多く、島根の地酒を飲むことができるシーンが少なかつたのです。また、お店の方の地酒に関する知識も少なく、いい酒があるのに勿体ないと感じていました。

そこで、同じように感じていた仲間と立ち上げたのが、AAOです。

消費者と作り手である蔵人を結び、その循環が島根の地酒の盛り上がりにつながることを目指して活動しています。日本酒講座や、飲食店・酒販店売上利益アップサポートなどを行っており、現在NPO法人認可も申請中です。

日本酒と三谷さんの関係は？

(三) 松江高专卒業後、東京や大阪で建設関係の仕事に就いていましたが、二六歳のとき郷里松江に戻りました。

就職先の酒のディスプレイスカウント店店長に昇進した際、仕事のうえで何か自分に「はく」をつけたいと思いい、利き酒師の資格を取得した事が、その後、日本酒ひいては島根の地酒に深く関わっていきつかけになりました。それまでは、バーボンをロックで飲む方がかつこいいと思っていました(笑)。

「酒匠」、「日本酒学講師」という山陰では二名しか取得していない資格を取得されているそうですが。

(三) 二〇〇〇年に利き酒師、〇六年に酒匠、〇七年に日本酒学講師の資格を取得しました。

利き酒師というのは、日本酒の味を判別する資格に思われがちですが、実は日本酒に関する知識の取得です。酒匠(さかしょう)はテイスターとしての資格です。日本酒学講師の資格を取得すると、自分の持つ日本酒の知識を「伝える」、つまり講師ができることになります。

これまで、カルチャーセンターなどで日本酒・島根の地酒の知識を学ぶ講座を開き、受講者二〇〇名余を日本酒ナビゲーターに認定し、日本酒の知識面の普及に努めてきました。

また、〇八年から一年間、山陰中央新報に島根の地酒に関する日本酒コラムを掲載させていたいただきました。これからの講座では、酒を「たしなむ」・「楽しむ」ということにも焦点をあてていきたいと思っています。

AAOの活動内容や今後の目標は？

(三) 十月に松江で、「しまねの地酒宴結び」を

初めて開きました。飲食店や酒販店の方と酒蔵との情報交換を目的とした第一部と、一般の方にお酒を楽しんでいただく第二部に分けて開催し、大好評を得ました。

この会で第一部を設けたのは、酒の作り手と売り手の交流を深め、知ることににより、販路を開拓する場となると考えたからです。「島根の地酒を盛り上げる」とは、単にイベントを行えばいいのではなく、島根の地酒が売れなければ意味がないと思っています。

二〇一二年に、酒発祥の地とも言われる島根で、全国から一万人が参加する日本一の日本酒祭りの開催を目指して、目下全力投球中です。



酒匠・AAO代表
三谷尊文さん (37)
連絡先：090-4104-9010

<http://www.aao-aao.com/>
<http://www.shimane-sake.or.jp/>

近畿島根県人会に一言メッセージを！

(三) 島根には三五の蔵元がありますが、先人から引き継ぐもの、新たに開拓していくものそれぞれがうまく生かされています。

酒が好きだ、という周りの雰囲気酒造りを活性化させることとなります。是非、ふるさと酒を気にしてやってください！

関西エリアの島根イベント情報をお届けします

～関西地区で島根県産品が買えるお店情報～

阪急オアシス尼崎潮江店、いかりスーパーマーケット各店、だんだんショップ尼崎、大枘玉造本店ほか、まだまだ沢山あります。詳しい店舗・商品情報は[こちら↓](http://www.pref.shimane.lg.jp/osaka/ibento-jouhou.html)からご覧いただけます

<http://www.pref.shimane.lg.jp/osaka/ibento-jouhou.html>



～産直市情報～

★JA雲南産直市



毎回大人気の産直市です。島根県奥出雲産の野菜や加工品を産地直送でお届けします！

【場所・日時】

① 阪急オアシス尼崎潮江店/尼崎市潮江1-16-1 (JR尼崎駅北)

平成21年11月12日(木)～13日(金)

平成21年11月26日(木)～27日(金)



② 阪急オアシス武庫之荘店/尼崎師南武庫之荘1-21-1 (阪急武庫之荘駅西)

平成21年11月19日(木) ※1日限り

★JAいずもフェア

出雲から、富有柿・干し柿・ブロッコリーなど季節の農産物や、味噌・お茶などの加工品を産地直送でお届けします！

【場所・日時】

① 阪急百貨店千里店 (大阪モノレール千里中央駅)

平成21年11月21日(土)

② 阪急百貨店西宮店 (阪急電車西宮北口駅)

平成21年11月22日(日)

③ 阪急百貨店北花田店 (地下鉄御堂筋線北花田駅)

平成21年11月23日(月・祝日)



宍道湖のしじみを直送します！

漁師さんが作ったホームページ「しじみドットコム本舗」では、宍道湖産しじみを通信販売で全国へお届けしています。美味しい食べ方・保存方法の紹介など、しじみ情報を満載していますので、是非ご覧ください！！

問い合わせ先

島根県宍道湖産大和しじみの専門店
 **しじみドットコム本舗**

ホームページ <http://www.sijimi.com/>

TEL (フリーダイヤル) 0120-443-418



お問い合わせ先：島根県大阪事務所
 しまね産品振興スタッフ
 電話：06(6364)3605



2009年の島根を振り返って

島根に関すること、こんなことがありました。

- 1月 「宍道湖しじみ館」が松江しんじ湖温泉にオープンする
しじみ映像コーナーやしじみ直販コーナーを設け全国一の漁獲量を誇る宍道湖のしじみのあらゆる情報を紹介します。
- 4月 「多伎いちじく館」が道の駅「きらら多伎」前にオープンする
約100戸の農家を作るいちじく・蓬莱柿（ほうらいし）のPRコーナーや加工室、調理室などのほか、ふれあいショップ、農林水産直売コーナーを設置しています。
- 5月 12年に1度の日本三大船神事の1つホーランエンヤが9日間にわたって開催される
- 6月 前島根県知事澄田信義氏ご逝去される
- 7月 出雲大社で、60年ぶりの大修復を進める国宝・御本殿の大屋根特別拝観が実施される（～8月）
島根ワイナリー「早摘みデラウェア2008」が国産ワインコンクール2009で入賞する
北米系等品種・白部門において銀賞と最優秀カテゴリー賞のW受賞
- 8月 島根県立しまね海洋館アクアスのシロイルカ「アーリャ」に赤ちゃんが誕生する
- 9月 前島根県知事故澄田信義様お別れの会執り行われる
石州半紙がユネスコ無形文化遺産登録に決定される
出雲市の砂原遺跡で発掘された石器が約12万年前のもので、日本最古の旧石器と確認される

近畿島根県人会会員募集！！

皆様の周囲で当県人会に関心のある方がおられましたら、下記まで御連絡ください。

活動内容や入会方法などを御説明いたします。

～近畿島根県人会事務局～

担当：濱浦・天田

Tel (06) 6364-3605

〒530-0047

大阪市北区西天満3-13-18

島根ビル2階 島根県大阪事務所内

アーリャと
赤ちゃんイルカ

